

- ・本資料は、当社の経営方針等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- ・本資料で使用するデータおよび表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。
- ・本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

2017年3月期 中期経営計画および決算説明会資料

取締役社長
新芝 宏之

2017年5月10日

岡三証券グループ

目次

1 前・中期経営計画の振り返り

- ・ 前・中期経営計画の概要 ……P 4
- ・ 計画達成状況について ……P 5
- ・ 収益構造の変化(岡三証券 2000年3月期比) ……P 6
- ・ 販管費カバー率の推移 ……P 7
- ・ 当期のトピックス紹介 ……P 8

- ・ 新・中期経営計画(グループ各社計画) ……P 18
- ・ アライアンスによるグループ拡大 ……P 19
- ・ アセットマネジメントビジネス戦略 ……P 20
- ・ オンラインビジネスの成長戦略 ……P 22
- ・ フィンテックへの取り組み ……P 24
- ・ IR強化、株主還元 ……P 25

2 新・中期経営計画について

- ・ 経営環境の変化 ……P 11
- ・ 新・中期経営計画の策定にあたって ……P 12
- ・ 岡三証券グループの価値創造モデル ……P 13
- ・ 新・中期経営計画(計画概要) ……P 14
- ・ 新・中期経営計画(グループ力強化策) ……P 16

3 創業100周年に向けて

- ・ 事業基盤確立のための取り組み ……P 27
- ・ 総括 ……P 28

ハイライト

1

前・中期経営計画の振り返り

2

新・中期経営計画について

3

創業100周年に向けて

1. 前・中期経営計画の振り返り

前・中期経営計画の概要

■対象期間

2014年（平成26年）4月から2017年（平成29年）3月までの3年間

■経営哲学

お客さま大事

■経営目標

定性目標

- （1）投資アドバイスのプロフェッショナル集団を目指す
- （2）働きがいがあり、より一層大きな「誇り」を持てる企業とする
- （3）上記（1）、（2）の結果として企業価値を高め、上場企業としての責務を果たす

定量目標

- （1）連結純資産 2,000 億円（最終年度）
- （2）連結ROE 10 %（安定的な達成）

上記のほか、長期目標として、2023年4月の創業100周年までの早期に、グループ全体で口座数100万口座、預り資産10兆円の実現を目指す。

1. 前・中期経営計画の振り返り 計画達成状況について

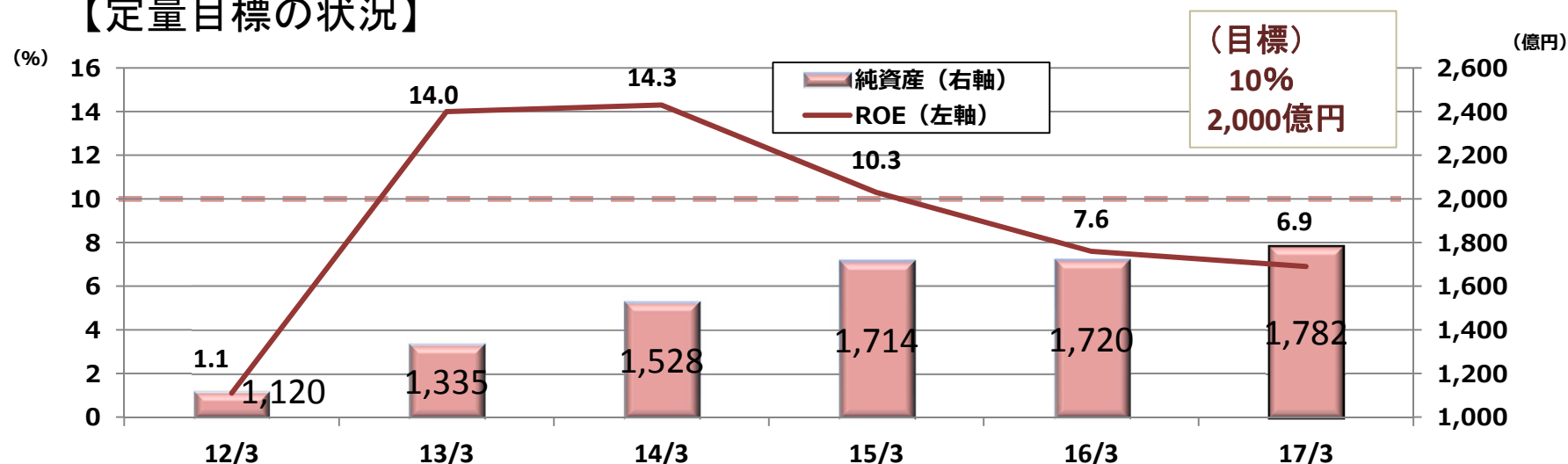
- 投資アドバイスのプロフェッショナル集団の確立に向けた施策を推進
- 2017年3月期末の連結純資産は1,782億円(2014年3月末(計画スタート時)比+254億円)
- 連結ROEは6.9%~10.3%で推移

【定性目標への取り組み】

投資アドバイスのプロフェッショナル集団の確立、社員の働きがい向上のための施策を推進

- ・ 投資情報力の強化（海外情報収集力の強化、専門性の高い人材の獲得など）
- ・ 実践的な知識・スキルを高めるための研修強化、リーダー人材の養成
- ・ 業績評価制度の見直し、多様な働き方や女性活躍を後押しする制度整備

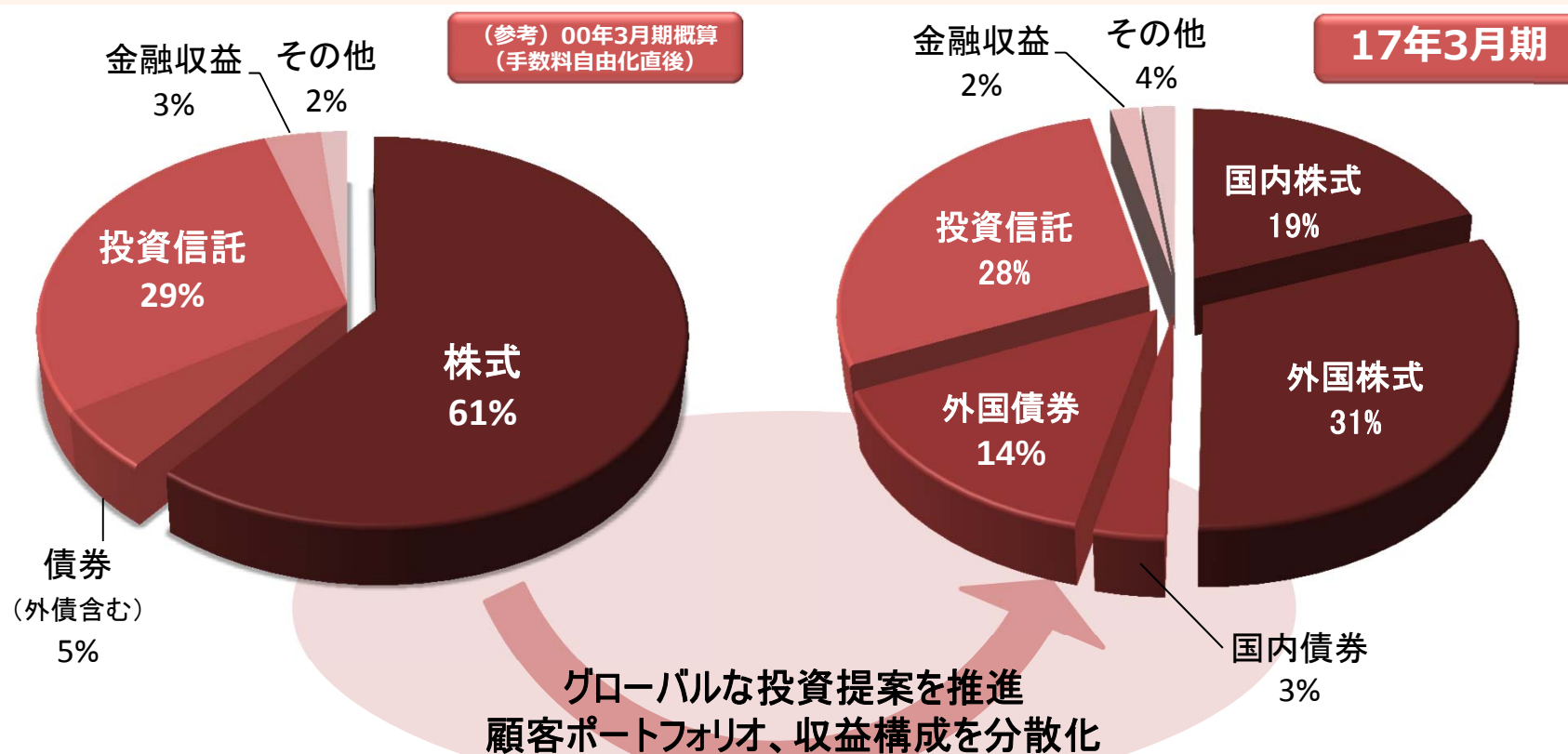
【定量目標の状況】



1. 前・中期経営計画の振り返り

収益構造の変化（岡三証券 2000年3月期比）

- グローバルな投資提案を推進し、外国株式・債券が増加。投資信託も海外資産型中心に。
- 国内株式への依存度は2割程度に
- 顧客ポートフォリオと収益構成が多様化、分散化

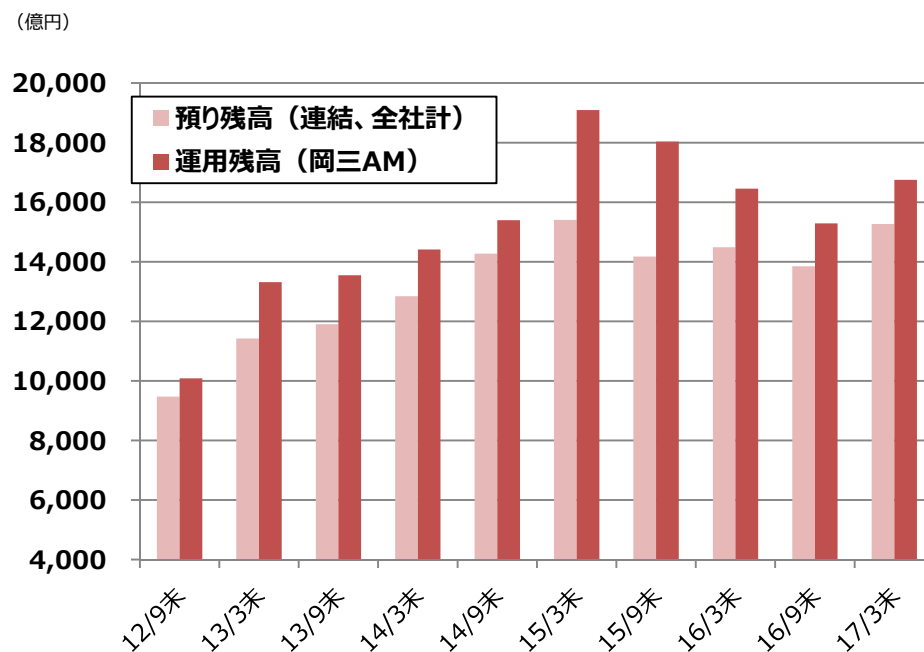


1. 前・中期経営計画の振り返り

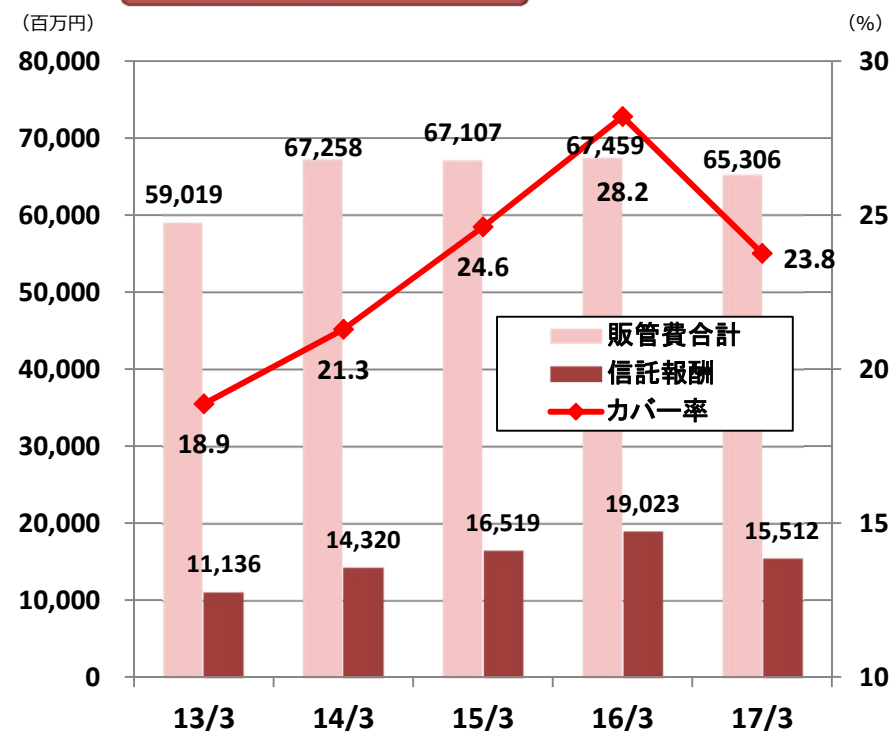
販管費カバー率の推移

- 岡三アセットマネジメントの投信運用残高は2017年3月末で1兆6,749億円
- 販管費カバー率は23.8%。引き上げを目指す。

投資信託残高推移



販管費カバー率推移



1. 前・中期経営計画の振り返り 当期のトピックス紹介 ①

岡三証券 店舗新設およびリニューアル

- 2016.04 名古屋支店を移転リニューアル
- 2016.11 京都支店を移転リニューアル
- 2017.03 新店舗「碑文谷プレイス」を開設
（「イオンスタイル碑文谷」内）



名古屋支店



京都支店



碑文谷プレイス

ウェブサイトリニューアル

- 2017.01 岡三証券サイトリニューアル
- 2017.04 岡三証券グループサイトリニューアル



岡三証券グループウェブサイト
(<http://www.okasan.jp>)



岡三証券ウェブサイト
(<http://www.okasan.co.jp>)

1. 前・中期経営計画の振り返り 当期のトピックス紹介 ②

iDeCoサービス強化

2016.10 岡三証券、運営管理手数料引下げ
や商品拡充などサービス拡充を発表

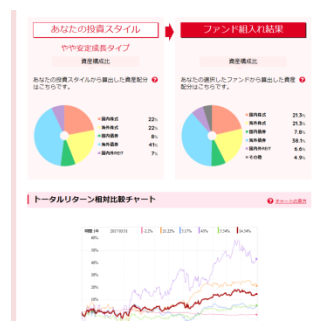
2017.01 DC専用ウェブサイトリニューアル

2017.04 ロボアドバイザー機能の提供開始

※岡三証券を運営管理機関として、
岡三にいがた証券、岡三オンライン証券など
においてもiDeCo取扱い中



DC専用ウェブサイト



ロボアドバイザー画面

岡三オンライン証券 新成長計画 を発表

2017.03 新成長計画「ReBorn」を発表

2017.03 投資信託購入時手数料を実質無料化

岡三アセットマネジメント アワード受賞

2016.04 「R&Iファンド大賞」最優秀ファンド賞
(1ファンド)、優秀ファンド賞(2ファンド)

2017.03 「トムソン・ロイター リッパー・ファンド・
アワード・ジャパン 2017」最優秀
ファンド賞(1ファンド)



ハイライト

1

前・中期経営計画の振り返り

2

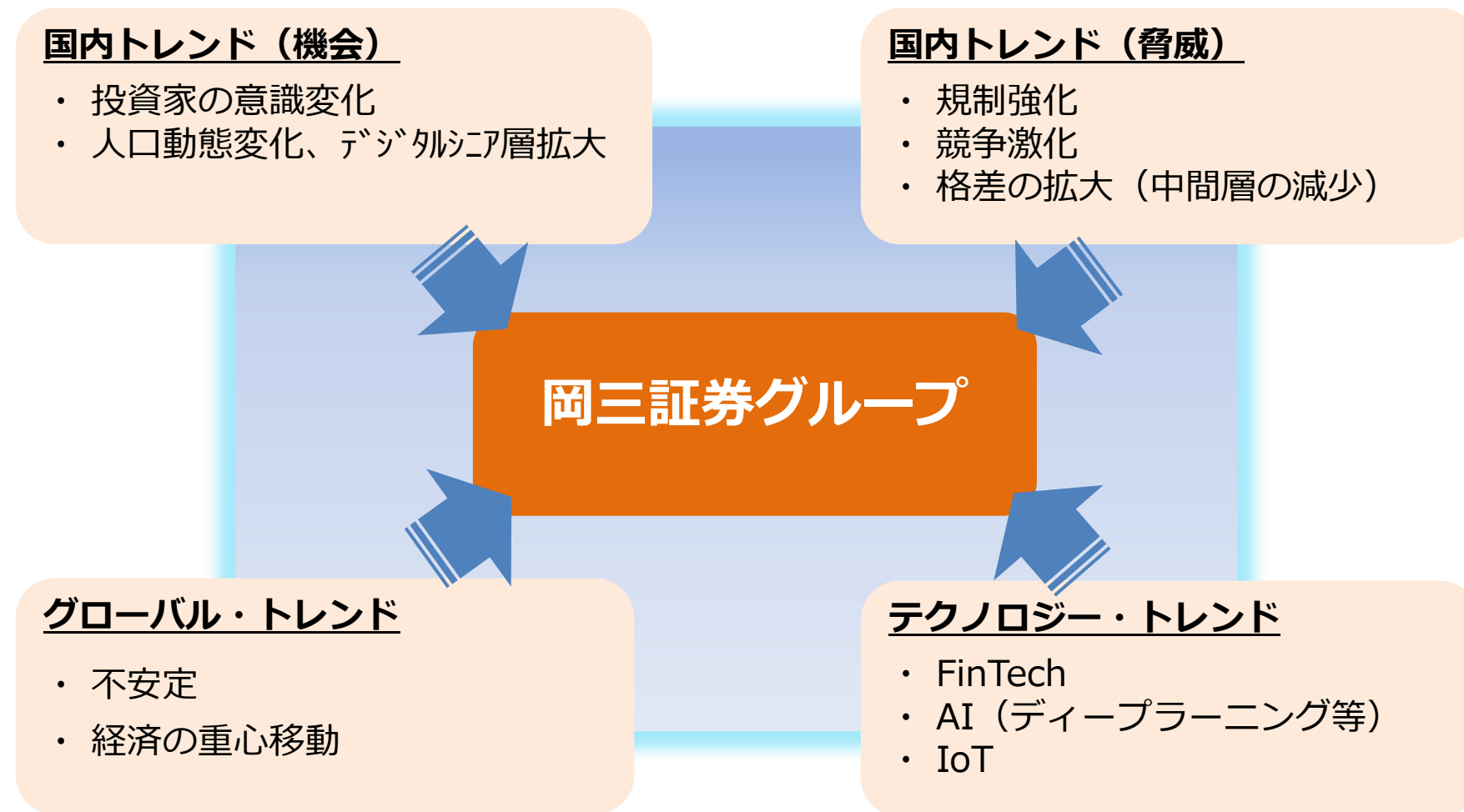
新・中期経営計画について

3

創業100周年に向けて

2. 新・中期経営計画について

経営環境の変化



2. 新・中期経営計画について

新・中期経営計画の策定にあたって

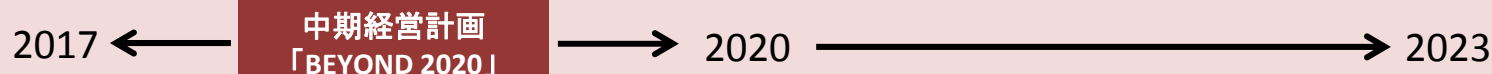
<BEYOND “OKASAN Group’s 100-year History” >

— 創業100周年を越えて新たな岡三のグランド・デザインの構築 —

2023年4月に創業100周年を迎えることに鑑み、創業100周年を越えてお客さまから信頼され成長を続けられる体制の確立に向けたグランド・デザインの構築を主眼として、経営ビジョン「BEYOND “OKASAN Group’s 100-year History”」を掲げる。

2020年までの当初3年間を中期経営計画「BEYOND 2020」として、その目標に向けたグループ力強化のための投資期間と位置付ける。

創業100周年(2023年)までのロードマップ



施策推進

定性目標

グループ力強化のための6施策

定量目標

ROE 10%

(長期安定的)

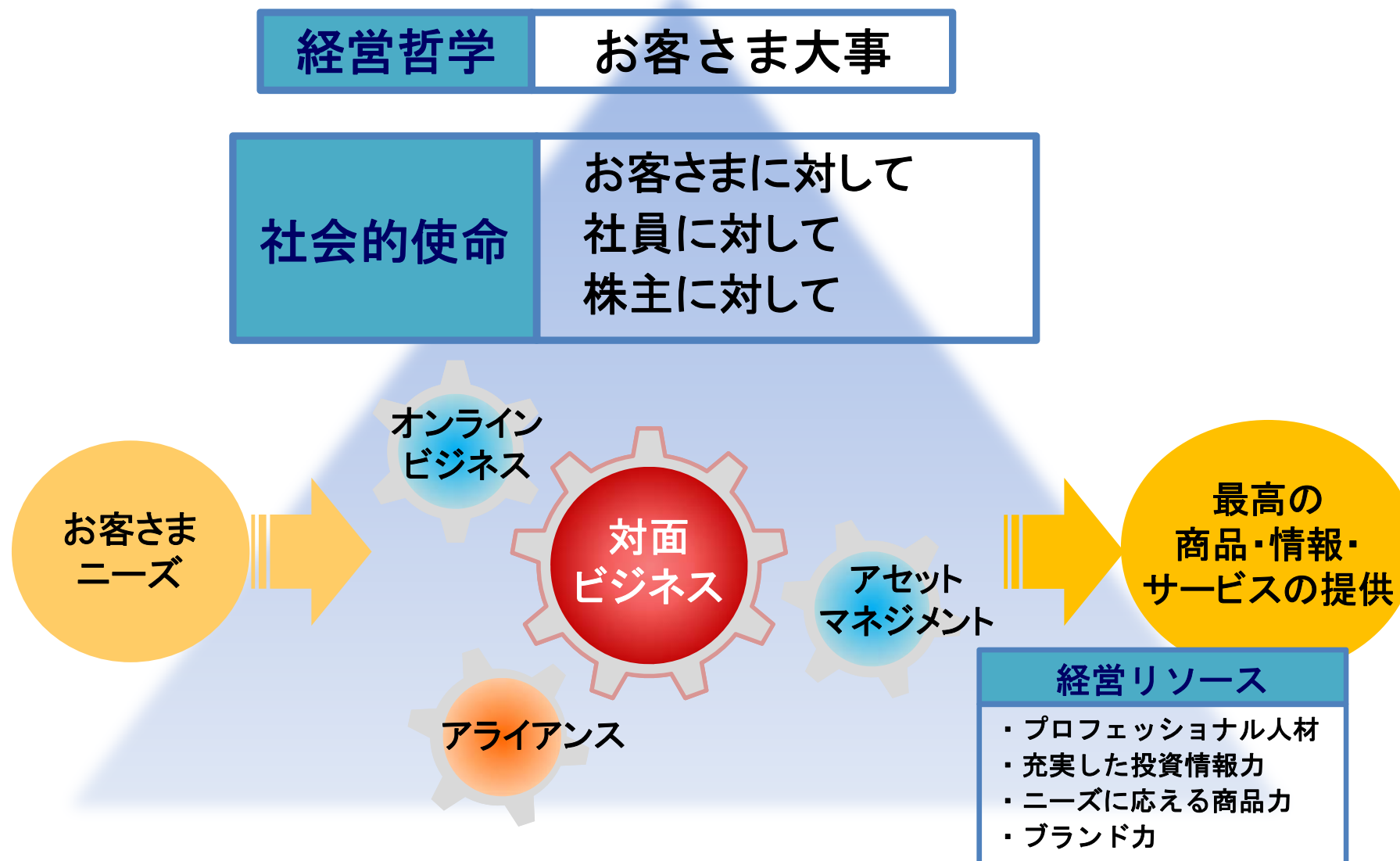
創業100周年に向けて

口座数100万口座

預り資産10兆円

成果拡大

岡三証券グループの価値創造モデル



2. 新・中期経営計画について

新・中期経営計画 ① (計画概要-1)

創業100周年を越えてもお客さまから信頼され、ご支持いただける証券会社であり続けることを目標とし、平成32年(2020年)までの3年間は、その目標に向けたグループ力強化のための投資期間と位置づけます。

■対象期間

2017年(平成29年)4月から2020年(平成32年)3月までの3年間

■経営哲学

「お客さま大事」

■社会的使命：3つの宣言

お客さまの「資産形成」「資産運用」から「資産管理」に至るニーズにお応えするという社会的使命に資することで成長を続けてまいります。

<ステークホルダーへの宣言>

(1)お客さま

我々は、お客さまの利益に資するため、投資アドバイスのプロフェッショナル集団となります

(2)社員

我々は、社員の働きがいに資するため、より一層「誇り」を持てる会社となります

(3)株主

我々は、株主の期待に応えるため、企業価値を高めます

新・中期経営計画 ② (計画概要-2)

■定性目標：グループ強化6施策

- (1) お客さま大事の経営
- (2) グループ内連携
- (3) グループ外連携
- (4) ブランド戦略
- (5) 人材、働きがい
- (6) FinTech対応

■定量目標：ROE 10%

会社成長とともに、長期安定的な目標としてROE 10%を達成します

■創業100周年に向けて

創業100周年までの早期にグループ全体で「100万口座」、
預り資産「10兆円」の達成を目指します

新・中期経営計画 ③ (グループ力強化策-1)

グループ力強化のための施策－ 1

項目	主な施策
(1) お客さま大事の経営 事務部門を含めたグループ各社、各部門がお客さまを中心に据えて、自らの役割を意識し、自発的に業務に取り組む。	① お客さまの声を聞く体制を強化 ② 各種データ分析等マーケティング機能を向上 ③ ①、②を踏まえた商品サービス提供への仕組強化
(2) グループ内連携 対面・オンライン営業、商品、情報、事務部門等グループ各社が持つ証券業務に係るリソースを、個社の垣根を越えて横断的に連携することで、シナジー効果を創出する。	① 相続対策も含めたグループ内お客さま紹介体制の強化 ② 情報、商品、人材等リソースのグループ内共有活用 ③ 対面とオンラインの証券システムの共有化
(3) グループ外連携 グループ各社が持つ証券業務に係るリソースを活用することで、地方の金融機関等と業務・資本提携を推進、深化し、独自の証券ネットワークの拡大を図る。	① グループ力を最大限に活かした業務提携の深化 ② 新たなアライアンス先の開拓 ③ 法人取次先の開拓、投資信託の販売会社網拡大

新・中期経営計画 ④ (グループ力強化策-2)

グループ力強化のための施策－ 2

項目	主な施策
(4) ブランド戦略 大手やメガバンク系証券会社とは違う当社独自のポジショニングを明確にし、当社の強みを活かした広告戦略を実施することで、幅広い投資家への訴求力を高める。	① 広告戦略強化 ② コーポレートアイデンティティの確立 ③ IR強化による企業好感度の向上
(5) 人材、働きがい 投資アドバイスのプロフェッショナル化を図る教育研修の充実や女性登用、柔軟な働き方、業務の効率化等「働き方の改革」を推進する。	① 教育研修の更なる拡充 ② 女性活躍の推進、多様な働き方への対応 ③ 評価等の人事制度の見直し
(6) FinTech対応 ITを活用したお客さまサービス強化を図るとともに営業力の強化・効率化につながるツールの開発を推進する。また、新しい技術を活用して全体的な業務合理化を目指す。	① IT化でお客さまサービス向上、営業補助ツール強化 ② 次期システムによる費用削減や業務IT化の促進 ③ AI、ビッグデータ等の先進技術の研究

2. 新・中期経営計画について

新・中期経営計画 ⑤ (グループ各社計画)

岡三証券グループ「中期経営計画」を推進する各社計画

証券ビジネス

岡三証券	・「お客さまの期待を超える」お客さま本位の営業徹底 ・人口動態を踏まえた営業施策推進 ・柔軟な働き方フレームワーク構築等の働き方改革
岡三オンライン証券	・スマートフォン、タブレット等の取引サービス拡充 ・AI等FinTech活用、ペーパーレス化等による新たな価値創造 ・取引所FX・CFD等のグループ外への取次サービス実施
岡三にいがた証券	・お客さま利益の追求 ・地域金融機関との顧客紹介業務の拡大 ・社員の資質向上と柔軟な勤務体系への対応
三晃証券	・お客さまに寄り添ったサービス提供 ・セミナー、イベント等を通じた地域社会との共生 ・人材の育成と組織力の強化
三縁証券	・お客さまに愛されるお客さま本位の業務運営 ・新人事制度導入により魅力的な職場への改革 ・地域の特性を活かした人材採用
岡三国際(亞洲)	・香港・台湾ビジネスの強化 ・グループ証券各社との海外ビジネス連携強化 ・海外アライアンス企業との関係強化

アセットマネジメントビジネス

岡三アセットマネジメント

- ・お客さまにご満足いただける投資運用サービスの提供
- ・運用パフォーマンスの向上
- ・グループ内外の販売会社ネットワーク拡大

サポートビジネス

岡三情報システム

- ・次期システム等グループシステム戦略の構築、推進
- ・システムの品質・生産性向上、リスク管理態勢強化
- ・収支構造の改善、効率化によるシステム費用削減

岡三ビジネスサービス

- ・グループ各社の事務業務効率化への追求
- ・高品質なサービスの提供

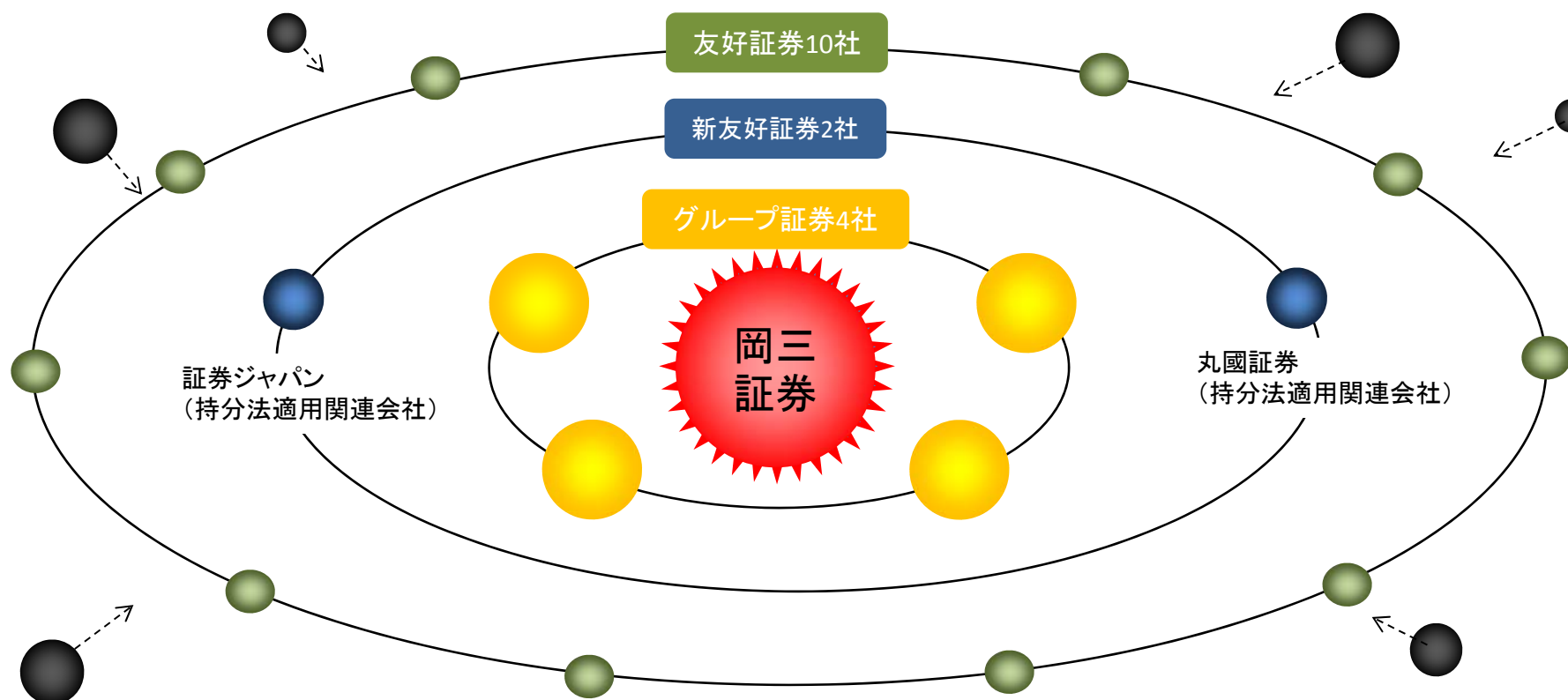
岡三興業

- ・ファシリティマネジメントの推進によるグループ資産の効率運用
- ・グループ各社の福利厚生等の充実に向けた保険による支援

2. 新・中期経営計画について

アライアンスによるグループ拡大

- 岡三証券を核とした岡三ブランドをさらに強化し、求心力を高める
- 今後も業務提携、資本提携を推進し、独自の証券会社ネットワークを拡大する

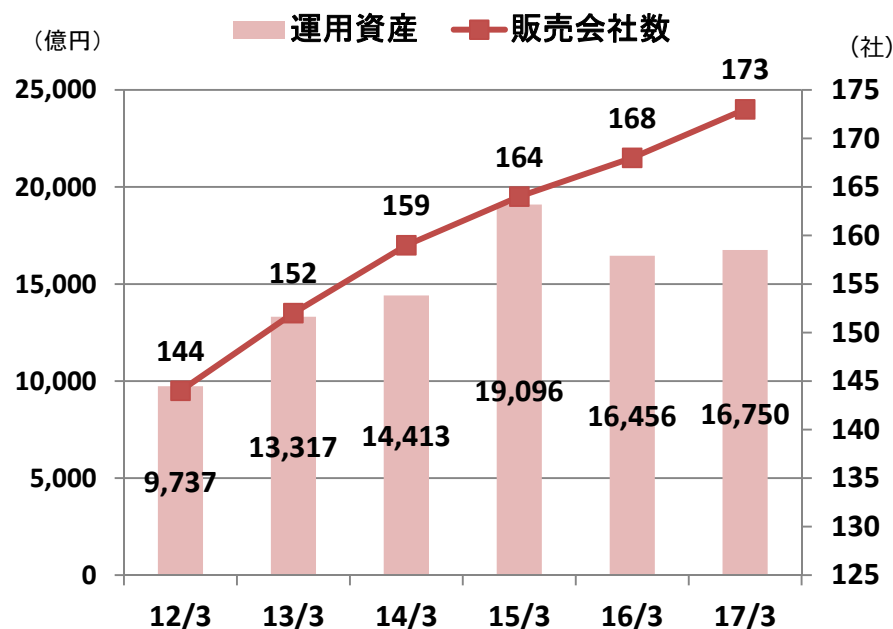


2. 新・中期経営計画について

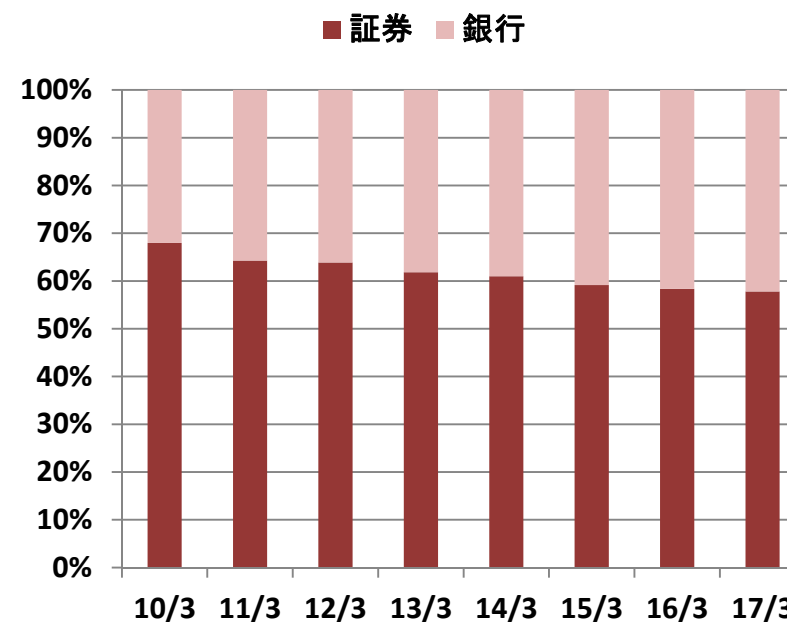
アセットマネジメントビジネス戦略 ①

- 確定拠出年金は一層の拡大が予想される。資産運用ビジネスは成長産業。
- 銀行窓販も定着しつつあり、岡三アセットマネジメントの販売会社173社のうち、73社が銀行

運用資産と販売会社数の推移



販売会社の構成比



アセットマネジメントビジネス戦略 ②

- グループ外の販売会社網を拡大中。
- 岡三証券との残高の重なりは半分以下。岡三ブランド浸透へ。

岡三証券
投信預り残高
1.4 兆円

うち、重複
0.8 兆円

岡三アセットマネジメント
投信運用残高
1.7 兆円

オンラインビジネスの成長戦略 ①

- グループの中長期的成長を実現するために、オンラインチャネル戦略が重要な役割を担う
- 岡三オンライン証券、新成長計画「ReBorn」を発表(2017年3月)

岡三オンライン証券 新成長計画「ReBorn」

1. 経営ビジョン

ネット証券の先進性に岡三証券グループの強みである相談機能を融合し、資産管理型のネット証券としてお客さまとともに発展してまいります。

2. 経営方針

お客さまの投資パフォーマンス向上を第一に考え、サービスレベルの向上による既存のお客さまの満足度向上と、新規のお客さまの期待に応えられる付加価値を提供してまいります。

3. 数値目標：平成32年（2020年）3月末

顧客数	23万口座	(2017年3月末時点 12.9万口座)
預り資産	4,600億円	(2017年3月末時点 2,652億円 ※取引所預託分を含む)

オンラインビジネスの成長戦略 ②

岡三オンライン証券 新成長計画「ReBorn」経営方針に基づく主な施策

(1) サービスレベルの向上

- ・ 日本株
 - ⇒ システムリプレイスで機能拡充策を続々リリース
 - IPOもグループ会社と積極連携
- ・ 投資信託
 - ⇒ Z E R Oファンドプログラム スタート（購入時手数料実質無料化）
- ・ F X ・ C F D / 先物 ・ オプション
 - ⇒ システムトレードの推進、法人取次サービスの開始
- ・ その他商品
 - ⇒ 個人型確定拠出年金（iDeCo）、N I S A など

(2) お客様の投資パフォーマンスの向上 『新たな価値の提供』

- ・ 投資情報の拡充
- ・ 相談機能の強化
- ・ フィンテックの活用

(3) お客様の利便性向上 『ペーパーレス・Web登録機能を充実』

(4) 財務体質の強化

2. 新・中期経営計画について

フィンテックへの取り組み

- グループ一体となって金融イノベーションの実現に取り組むことを目的に、「フィンテック研究室」(仮称)の設置を検討中。
- FinTech戦略の推進と証券業務への活用を目的とした取り組みの第一弾として、「金融ITイノベーション推進プロジェクト」を立ち上げ。

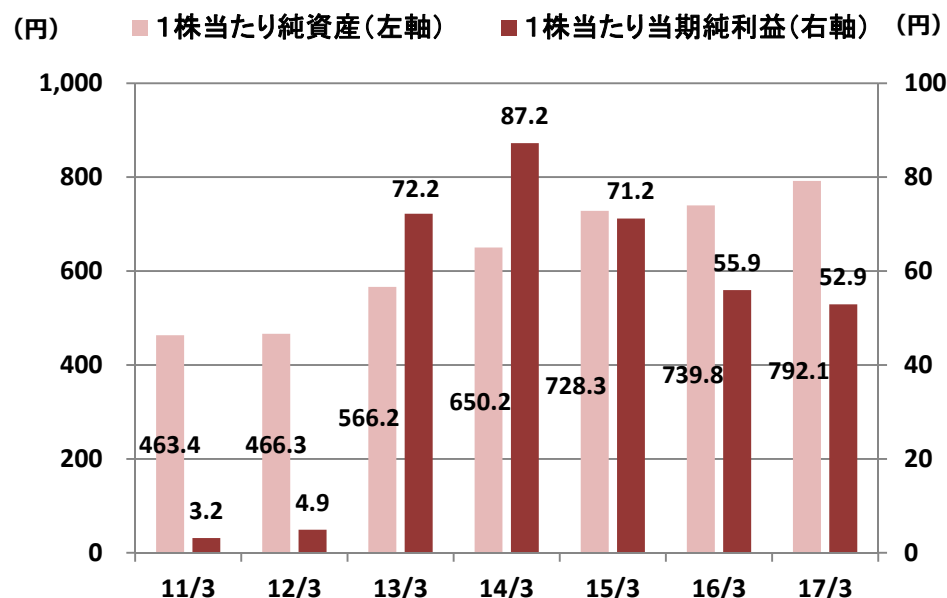
技術領域	適用分野
AI（人工知能）	・ コンプライアンス ・ 市場調査と分析 ・ トレーディングアルゴリズム ・ リスク管理 ・ 個人の財務管理
ブロックチェーン	・ 仮想通貨 ・ 有価証券の管理と清算
インターネット技術	・ 銀行預金のスイープサービス
生体認証	・ 指紋認証や音声認証など
APIエコノミー	・ アカウントアグリゲーションと異業種との連携
ビッグデータ	・ マーケティング、リスク管理、商品開発など

2. 新・中期経営計画について

IR強化、株主還元

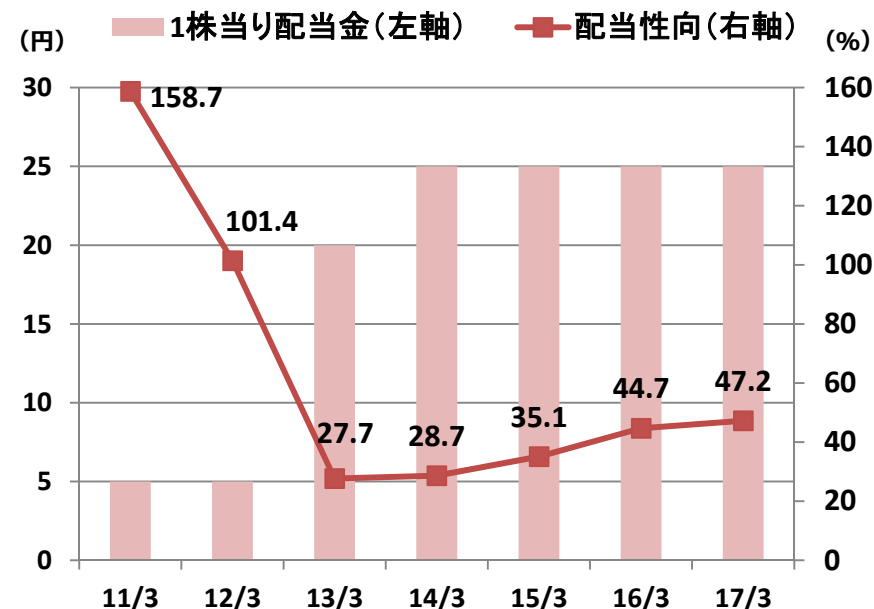
- IR情報の積極発信、IRサイトリニューアル、イベント出展など
- 株主満足度を意識した還元
- 資本充実とROEのバランスを考慮

1 株当たり利益および純資産の推移



いずれも連結ベース。数値は小数第2位以下を四捨五入。

配当金および配当性向の推移



配当性向は連結ベース

ハイライト

1

中期経営計画と進捗

2

新・中期経営計画について

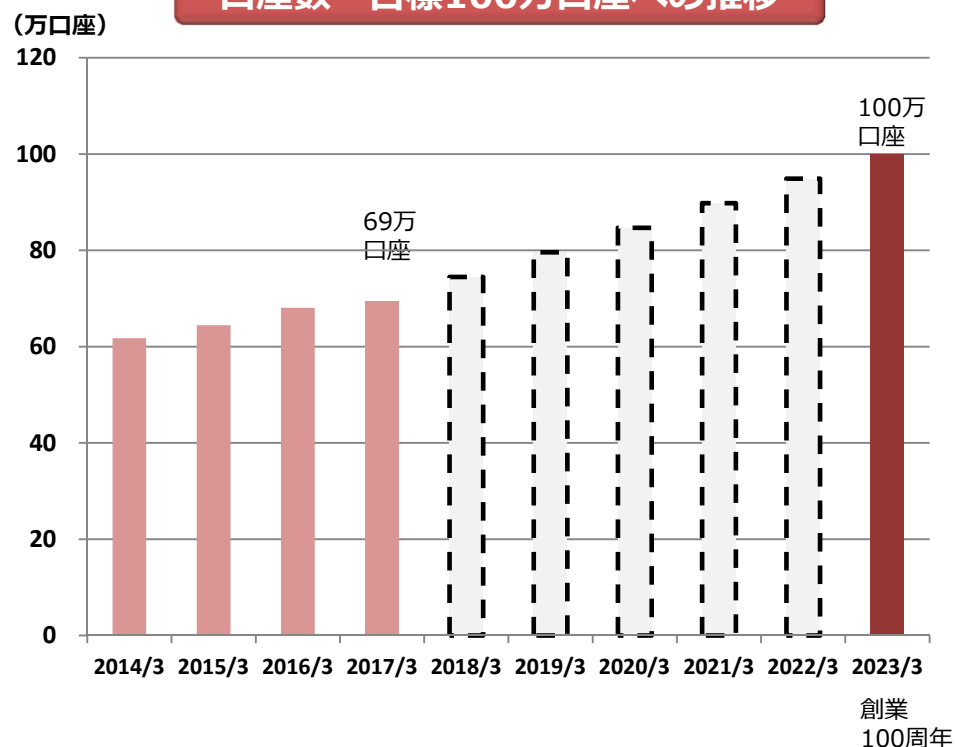
3

創業100周年に向けて

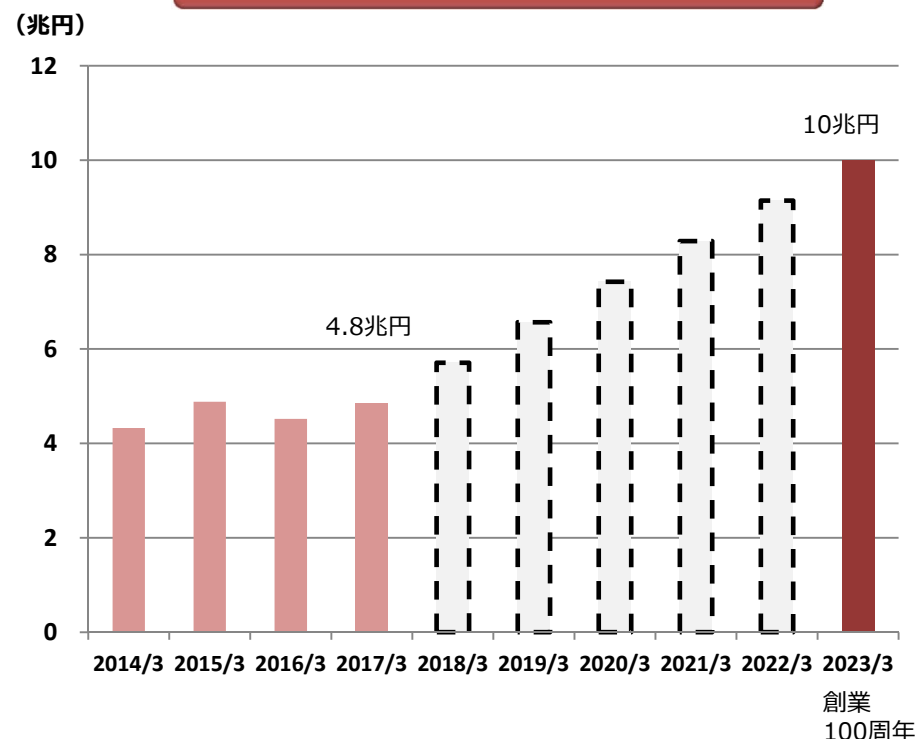
3. 創業100周年に向けて 事業基盤確立のための取り組み

創業100周年を迎えるにあたり、安定した事業基盤を確立するため、
中長期目標として、グループ全体で「口座数100万口座」、「預り資産10兆円」

口座数 目標100万口座への推移



預り資産 目標10兆円への推移



3. 創業100周年に向けて

総括

前・中期経営計画の 振り返り	■「投資アドバイスのプロフェッショナル集団」の確立 ・専門性の高い人材の獲得、海外証券会社との提携などにより投資情報力を強化 ・実践的研修の推進、リーダー人材養成 ■社員の働きがい向上のための施策を推進 ・業績評価制度の見直し、多様な働き方や女性活躍を後押しする制度整備 ■定量目標に向けて ・連結純資産目標2,000億円 ⇒2017年3月末1,782億円(254億円増加) ・連結ROE 10 % ⇒6.9%～10.3%で推移
新・中期経営計画 2017年4月～2020年3月	■BEYOND 2020 ・創業100周年(2023年)後を見据え、2020年までの3年間はグループ力強化のための投資期間と位置づけ ・経営哲学は不変「お客さま大事」 ・社会的使命:「資産形成」「資産運用」から「資産管理」に至るニーズに応える ・グループ強化のための6施策を推進 ・定量目標: 連結ROE 10%
2023年4月 (創業100周年)	■100周年に向けた事業基盤の拡大 ・グループ口座数100万口座へのアプローチ ・グループ預り資産10兆円を目指す

問合せ先：株式会社岡三証券グループ
グループ広報部

住 所：〒103-0022
東京都中央区日本橋室町2-2-1

T E L：03-3275-8248（広報直通）

U R L：<http://www.okasan.jp>